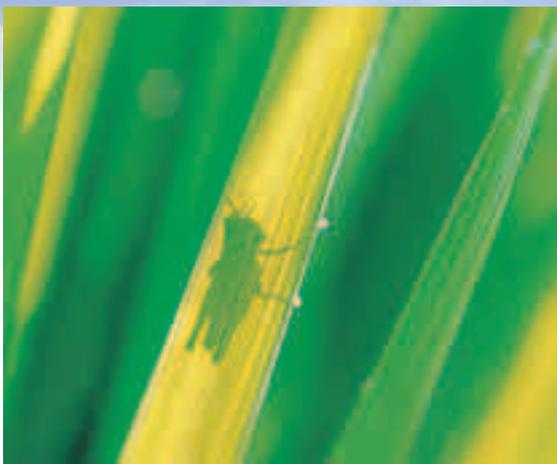


第52回

私の街さかた

# 入賞作品 写真コンテスト

お問い合わせ／市政策推進課広報広聴係 ☎26-5706



本市の出来事の紹介や写真文化の振興などを目的にした「私の街さかた写真コンテスト」。入賞作品が決まりましたのでお知らせします。

【応募状況】 応募者数78人（前年61人）、応募作品数146点（前年111点）

#### ◆審査員

白畑 晋氏（全酒田写真連盟会長）  
渡辺 暁雄氏（東北公益文科大学准教授）  
日向 香氏（アートディレクター）

#### ◆全体の講評

昨年を上回る応募数でしたが、組み方も含めて写真のレベルの向上を感じました。作品にする際は、組み方と同じくらいタイトルの付け方も重要です。また撮影する時間によって、光も見え方も変わってきます。「今」という瞬間をとらえることでより良い写真が撮れると思います。



入選

「寒風にハタハタ釣りの賑わい」

佐々木 勝則さん（みずほ一丁目）

虹に目が行くが、光の当たっている釣り人を縦に入れ、無駄がなく、まとまりのある構図になっている。

## 入賞作品の展示

土門拳記念館

1月4日(金)～14日(祝)

八幡タウンセンター

1月17日(木)～22日(火)

松山農村環境改善センター

1月24日(木)～29日(火)

ひらたタウンセンター

1月31日(木)～2月5日(火)

マリーン5清水屋5階

2月7日(木)～18日(月)

## 特選 「稲田の生きものたち」 佐藤 糧さん (庭田)

(組写真)

田んぼという場所に絞ったことがいい。それぞれの光の中で、水滴などのみずみずしさも含めて「生きている」感じがよく出ている。レンズの特性を生かした技術的にも優れた作品。



## 特選 「大河に映える」

(単写真)

今井 由雄さん (北千日町)

構図に無駄がない。橋の真っすぐのラインが効いている。水面に浮かんだ植物の葉がまるでレース編みのコースターを思わせ、別世界のような雰囲気表現している。



## 入選 「思いやり」 富樫 馨さん (北新橋二丁目)

もともとあったものへ思いやりをうまく表現している。光の加減がちょうど良く、落ち着いた感じ。



## 入選 「夕陽」 堀 勉さん (宮海)

下を黒くしたので作品全体に安定感があり、ゆっくりと見られる写真。夕陽の形がそれぞれ異なるところがいい。



## ふるさと発見賞

### 「旧阿部家小正月行事と遊び」

池田 きみ子さん (砂越緑町一丁目) 雪中田植えの不思議な感じを上手く表現している。普遍的な正月行事の風景。



## ユーモア賞

### 「祭り寸景」

佐藤 昭夫さん (栄町)

無機質な不思議な感じが出ている。静と動、また笑顔と中央の写真で脱力感を感じさせるところが面白い。



## ドキュメント賞

### 「超低気圧の爪痕」阿蘇 和夫さん (若宮町二丁目)

災害現場の臨場感が伝わってくる。折れ曲がった鉄パイプの曲線で、暴風の力をうまく見せている。まさにドキュメント。

## 新人賞

### 「酒田花火ショー グランドオープニング」

石井 萌さん (静岡県)



### 「山に吠える」

伊藤 慎司さん  
(東泉町六丁目)



### 「猛特訓 (着付けコンテストに向けて)」

山本 孝子さん  
(上安町三丁目)



# 佳作



## 「開放感」

太田 町子さん  
(錦町五丁目)



## 「飛鳥神社の湯立神事」高橋 正和さん (飛鳥)



## 「祭」齋藤 誠さん (みずほ一丁目)



## 「新生高校生 森林ボランティア」

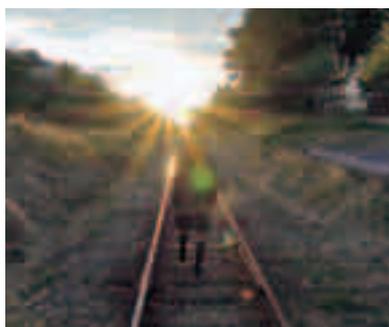
齋藤 昌幸さん  
(東泉町二丁目)

## 「神楽舞の日」佐々木 吉治さん (若宮町二丁目)

## ジュニアの部 特選



「浮遊」竹内 梨沙さん (酒田西高校)  
水の浮遊感をうまく表現している。つい、横から撮りたくなるが真上から撮るといった構図が良い。若々しく、タイトルもぴったりの作品。

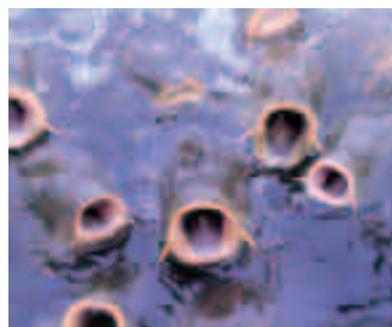


## ジュニアの部

## 入選

## 「大好きな寄り道」

皆川 知沙さん (酒田光陵高校)  
逆光をうまく取り入れたことで、言葉にできない雰囲気を感じ出している。足元の光の玉は吉兆を表しているよう。



## ジュニアの部

## 入選

## 「ご飯ちょうだい!」

佐藤 玲緒さん (酒田光陵高校)  
構図の勝利。水滴や泡が鯉のいきいきした動きを出している。丸い鯉の口を丸く見せないで少し欠けさせたことで空間の広がりを感じさせる。